

資-2.調査結果(自由記述)

【市民】

1 啓発・意識改革、情報発信に関する意見

	性別
行政がどのような事をしているか正直わからないのもっと市民の目に触れるような所で宣伝した方がいいと思う。公共交通機関の利用推進するために便やルートを検討してもらいたい。	女
行政の取組をもっと具体的に市民の意識が高まる様にして欲しい。個々には仲々難しいと思う。又、温暖化対策に積極的且つ意識の高まる方法(例えば懸賞付き標語とか)、メリットを考えるべきです。	男
ここ数年で地球温暖化対策についての取組協力や、周知については、広く行われてきていると思う。しかし、家庭についていえば、個々の考え方も様々で、推進している家庭は、まだまだ少ないといえる。七月七日プロジェクトのように、まずは一斉に取り組む日を少しずつ増やし、行動のきっかけづくりをした方が良いと思う。	女
地球温暖化が進み、子どもや孫の次代が心配です。行政が率先して取り組むと共に、市民全体が本気になれる様、エコ活動に対するインセンティブを与える等の仕組みを設けるのも一案では？出雲地方では、田畑の草焼きが多いように感じます。小さな事から確実に取り組んでいく市民意識の醸成と行政の指導が必要では？	男
もっとたくさんの方がもっともっと関心を持ち真剣に取り組むことが大事だと思う。その為にはもっとたくさんの方が情報や意識を高めることをしないとイケない。	女
年金生活、独居、又二世帯などさまざまな家庭環境で、家族もバラバラな時間帯での生活では、省エネを中々実行できないのが現状だと思う。しかし、行政の方から、月に一度〇〇をする日とか週に〇と〇をしましょうなど、町内毎、家庭毎に何かできるのかもしれない。又、出雲、平田、斐川、佐田、多伎、湖陵、大社と地区別に、対策をしていることを発信して、どれくらいの実績があったのか、わかると良いのかもしれない。次に仕組み作りをするかとか、誰がするか、家、町内、学校単位でするのか、など、対策にもなるのでは？	女
自然のものをもっと進めたほうが良いことを皆に社会などに知ってもらうように進めてほしい。	男
大型ショッピングモールやスーパーの出店や、あちこちにできるコンビニや自販機。物はあふれあらゆる情報があふれ、多様な価値観の中で、「地球温暖化対策を進めること」について何が大切なことか、見極めることは本当に難しいと思います。生き方にも匹敵する重要なことを、考える事だと思います。これから生きていく、住民ひとりひとりに課せられた問題でもありますし、行政にも必要な、リーダーシップの要素でもあると思います。「省エネルギー推進の町出雲」は、今後どのような形、どの方向をめざせばよいか、シンポジウムなどで考える機会を設けてはどうでしょうか。(すでにあつたならすみません)ひとりひとりの行動変化が、ねらいのひとつでもあるのですが、社会全体の発展も省エネをとり組むことで、叶うなら、行政の力の入れどころでしょう。上記の経済効果とのバランスもあるでしょうから。現在、出雲市の消費電力全体中、再生可能エネルギーによるところはどのくらいあるのでしょうか。そういうのってわかることですか？	女
駐車場(コンビニ・会社・デパート等)での自動車エンジンの掛けっぱなしが多すぎると思う。何か具体的な対策が立てられたらいいのかなと思うが、個人の意識改革が一番大事だと思う。	男
みな地球温暖化の実態を理解し(まだまだ意識は低いと思う)具体的に、何をどうすればいいかを知る機会・場所づくり、まずは、そこからだと思う。	女
小さいことからコツコツと。意識をする。	女

家庭や職場で積極的に省エネに努めたり、各人に省エネについて周知してもらおう。無駄な買物は控え、使い回しができるものなどについては、繰り返し使う。	男
どのように取り組むか？具体的に市民に知らせる。できるだけ簡単に(ちょっと心がけるとできるもの)できることで、どれくらい効果があるか示す。実際に上記のことを実施している人の状況や感想等を紹介する。※広報への記載が望ましいが、町内会に入っていない世帯も多いので、チラシ配布という方法もあるし、どこかに(ショッピングセンター等に)表示する方法もあると思う。	女
自分たちに出来ることで簡単なことがあれば、教えてほしいです。地球温暖化は、防ぎたいと思いますが、何をすべきなのか、良くわかりません。	女
行政は市民一人一人の意識を高めるために、繰り返し広報活動を行う。その際、事例を具体的な数字を用い、目でみてわかるようにする。小・中学校からの教育必要。	男
期間毎にテーマをしばって呼びかけてはいかがでしょうか？広報や自治会等に別資料で。日々の節約例提案：今月はガス、来月は電気…など。地球温暖化対策を身近な問題として意識してもらうことが必要。(地球温暖化が進むと、私達の生活にどのような影響がでるのか、防止するのに私達は何ができるのか。学校等でまず子供達に意識付け。親子での取組。企業にも周知、セミナー等。	女
同じ北半球の米国は平均気温が上がっておらず、他の国でも同様の兆候があると聞いた事があります。そもそも地球全体が本当に温暖化しているのか？局所的な温暖化ではないのか？本当の情報を整理してまずは公表してほしい。市民が納得した時点で対策を一緒に考えるべきだと思います。知識不足ですみません。	男
地球温暖化は世界規模の問題であるので個人が沢山の知識・情報を入手して努力目標を設定して行動するように心がける	男
省エネルギーをより意識するために影響力がありそうな人が具体的に取り組んでいる温暖化対策があれば知りたい。それを周知したらどうだろうか。例えば、スポーツ選手、おしゃれカフェの店員さん、市長、トップブロガー…。省エネ=かっこいい、すぐ真似できそう、当たり前のこととなりますように。	女
主婦は家庭でできる事しかないが、それでも誰もが気を付けて行動すれば大きな物になると思う。メディアの力を借りれば、人の意識は変わり、実行できて行くと思う。	女
会社で教育があったり、雑誌などで読んだりして、地球温暖化対策には興味があり、出来る事からするように心がけている。家では家族の協力が必要だが、親世代は(80代)無関心で、こちらから頼んでみても全く聞いてはくれない。昼間も電灯をつけっぱなしだったり、電気ポットも24H、365日電源が入ってないと気がすまない。同じ年代の親がいる友人も同じ様な事を言っていた。高齢の方へ向けての講演会などを設けて、地球温暖化対策の必要性を伝えてあげてほしい。	女
情報提供として、本当に地球が危ないということが伝わっていないため、危機意識が低いと思います。子供が大きくなる頃の地球環境を考えると恐怖であるため、積極的に温暖化の防止をはからないと大変な事になるという意識付けの取組を行っていただきたいと考えます。	女

2 市(行政)の取組に関する意見

	性別
個人ではいろいろな条件があつて(経済の事や、老年になって必ずしもエネルギーの縮小等で無理のあることも多い。)まず地方の行政から必要なことは是非取り組みした方が良い。(国全体からの取組は地方それぞれで、大都市と、小さい町村とは、条件がちがうから、キメ細かく政府の指導も大事な事と思います)	女

地球温暖化対策が必要なことはわかるが、なかなかむずかしいものがあるように思う。家電などの買い替えなどは、家計のこともあるのですぐにはできないと思う。大きなことはできないけど、むだ使いをしないようにと、少しずつならできると思う。夜遅くまで仕事をしているところがあり、電灯をつけたりしているところがあるので、まず、そんなところは、早く終わるようにした方がいいと思う。たとえば、学校、市役所など、広いところに何人の人が遅くまで働いているのだろうか、あんなに遅くまで何をしているのだろうか、いろいろなところを明るくしてもったいないと時々思います。まずそんなところから、率先して、省エネ活動をしたらいいと思います。	女
政府、県、市、自治体が指導して助成金等を補助し行う。自然エネルギーの活用・24時間店舗、24時間自販機の廃止(23時～6時まで閉鎖)	女
最近の異常気象による自然災害の多発が地球温暖化によるものと思われます。一人一人が自分の事として自分にできる対策を行うとともに行政でも力を入れて取り組んで頂きたいです。	女
市役所も公用車での乗り合わせを推進してください。そのためにも、公用車を減らすべきです。庁舎の電灯も、減らすべきです。まずは、市役所が率先して取り組まなければ、市民も取り組みません。	女
市役所の残業をさせない。電気代の節約。PM19:00になると電気が消える様な対策をすべきです。この世の中、時間内に仕事を終わらせるようになってきているのに、毎日夜おそくまで電気が市役所全体に付いている。どうしても残業が必要なら、1つのフロアにあつまると対策が必要。まず市役所から市民に手本を見せるべきです。	女
ティッシュペーパーの使い過ぎをしないように1人1人が自覚しなければならぬ。テーブルに何かこぼれてもフキンを使わない人が多いように思います。森の木は限られた資源です。木がどんどん伐採されてはげ山になり異常気象、災害が続く今日です。もう使い捨て時代は終わらなければならない時が来ているように思います。木は1年や2年では大きくならないけど未来の為に植林をする(行政が指導すべきだと思います)	女

3 省エネへの取組に関する意見

	性別
1.電気を多く使用する場所、大型スーパー、病院、図書館、会社などの設定温度を確認する必要がある。電気代は自分の会社で支払っているが、家庭と違い、電気量が大幅に多く、行政がチェックしないと、自由に使用している。施設内に入っても、かなり寒い感じがしており設定の必要を感じています。	男
2.都会と田舎の違い(1)都会は、公共の乗り物が便利で、車よりも公共の乗り物を利用して、歩いているが、田舎は、不便のため、車を使用しないと生活できない。歩かないため運動不足にもなる。(2)大型スーパーでも、できる限り階段を使用しており、大社町内も天気の時自転車を使用しています。自分の運動と、経済面で続けています。	
親と同居しているため、家でも省エネ等は、特にしていないが、少しずつ感じて行動していければと思います。	男
エアコンの多用を避ける。森林保全。家や公園の緑、木陰を作る。芝生化されたところの管理(的はずれですみません)	女
その地域ごとに合った対策を検討・実施していくべき。都会と地方では、生活スタイルがかなり異なってくることになるため、画一的な対策内容では、実現が難しいと思う。個人、各家庭レベルでの、実施ができる仕組みが必要。数値で確認できるような仕組みを作り、達成できたら、お金がもらえるなどのメリットがあれば誰もが、意識して、実施するのではないだろうか。	男

1人だけ、小さな団体だけが取り組んでも、効果は少ないと思うので、日本中、世界中で、活動が広がっていかないと…と思う。(まずは、1人1人の心がけが大切だと思うが。)便利な生活は、どうしてもエネルギーを使っているの、不便を不便と思わないような生活ができれば良いですが、なかなか難しいです。(自分の反省として)	女
地域全体での取組が必要だと思います。	女
地球温暖化対策は非常に大切なことではあるが、自身が暮らしぶらくなるような(エアコン設定が高いと動けなくなってしまうなど)ことまではしたくない。私の場合、身体が動けないときは、ガンガンエアコンを使っています。汚染が少なくて、安価で手に入れられるエネルギーを早く見つけてほしい。(政府レベルじゃないとむずかしいでしょうね。)	女
電気を使い過ぎない。	女
地球温暖化対策に必要な機器を購入したり、改善した場合に市からポイントももらえて、いくらか満たすと粗品とか…等還元されるシステムがあると、もっと1人1人が身近な問題としてとらえる事が出来る様な気が致します。	女
現在取り入れている所があるが、何かしらの対策に対してポイントだったりが入るようなゲーム感覚でできるシステムがあれば1人1人の考え方等変わる一歩になるのではないのでしょうか。	女
スーパーやコンビニなど照明の使い過ぎだと思う。ライトダウンの日や、時間帯を設けると良い。	男

4. 省エネ機器等の購入に関する意見

	性別
70歳の夫婦二人で生活しています。機器、システム導入の件ですが後何年使用する事が可能かを考えると良いことだとは思いますが、購入する方が余計に地球温暖化対策に反する様に思われます。(地球温暖化対策に対して費用対効果を考えますと)	男
地球の温度が1度上昇説がある今日、30年後は現在より更に2度?位の上昇が懸念、その対策案は、行政機関に委ね、方針に従う次第ですが先ず生活基盤の衣、食、住に対する取組が必要と思われま。したがって、あまり贅沢な取組(仕組)は避けるべきで万人が実行可能なものから導入。対策の重要性は理解していても、省エネのための各分野の機器等については、何と云っても経済的な面もあり、個人(住民)では限定条件がある。要は、金銭不要(自然界)なもの、又は、最小限の経済的負担軽いもので済むもの等を取捨選択すべきことが個人に問われるものと思いたします。乱筆乱文を許してください。	男
エコ系の器具を安く購入できるように。エコを考える事で生活費を圧迫される懸念がある。	男
古いエアコンを新しいエアコンに買い換えるための助成金を出してみる。	男
機器の導入等はアパートだと自分で勝手に出来ないのが難しい	男
老朽化した建物(行政所有分、個人所有も含めて)は、取り壊し、省エネ住宅専用の土地として、売り出す。省エネ住宅しか建ててはいけなと条件つける。取り壊す際は行政からの補助金等が活用できればなお良し。(担当課が異なるかもしれませんが)省エネだ!と言って自宅や畑周辺で草などを焼く方への取り締まり、注意勧告。非常に危険行為だと思います。(量や焼いているもの確認等、制度上に落とすとすれば、判断基準が非常に難しいと思いますが…)少しでも、そのような行為をした場合罰金(助成制度の財源として活用)とか…。	女
省エネに関するもの(住宅等)を購入する際の助成金額を増やす。そういう情報は広報だけでなく、もっといろいろなところでアピールする。みんなが周知できるようにする。	女

<p>個人では、省エネルギー機器を購入するには、高価格のため難しい。又、省エネ以外のメリットが少ないのでは。(年間電気代等と比較して)公共機関で木質バイオマス施設の積極的導入をして、森林資源活用をPRする。(他の省エネルギー施設より比較的開発コストが少なく、見た感じよりPR効果が高く、安価でできるのでは)</p>	男
<p>地球温暖化対策について、必要性は感じるし、興味、関心はあるものの、日常的に生活している中で、身近に、具体的に自分や家族ができることが何なのかいまいち分からない。もっと知る機会や知識があれば、自分たちにできることから地球温暖化対策をはじめたい。アンケートの項目を見て、「え?!こんなことも対策の1つになるの?」と思うことが多かった。知らず知らずのうちにやっていることが、対策になるのもいいが、正しく知って、さらに意識して取り組める方がもっとよい。地球温暖化の現状も含め、自分たちにできることをもっと知りたい。省エネ住宅、ZEH等、の導入について、今後家を建てたいという思いがあるので、その際には、省エネ住宅、仕様、装備など取り入れたいが、もう少し取り入れやすい価格にしてほしい。補助金の制度があるのはいいいが、期限つきでないほうがいい。</p> <p>また、補助金がないのであれば、誰にでも取り入れやすい価格にして推奨してほしい。お金のある人、お金をかけた人だけにできる省エネ住宅では意味がない。</p>	女
<p>地球温暖化対策を進めるにあたって、市町村や県、国からそれなりに助成がないと、エコ機器の導入は難しいと思う。また子供たちに幼少期からもっと省エネルギーに対する教育を行うべき。遊びの中からでもごみの分別や節電は学べるはず。</p>	女
<p>初期費用がかかるので補助金などあればみんな興味をもつと思う。地球温暖化対策のため自分だけ頑張ってもどうにもならないと思い日々の努力をやめてしまう。個人の努力でどの程度効果があるのかが分かれば励みになると思う。</p>	女
<p>エコキュートなどの省エネになるものを新しく導入しようと考えてはいるが市や県などからの支援金などの程度力を貸していただけるか分からないし、高すぎて導入できない。たまにパンフレット見たりするが見てもよく分からない。</p>	女

5 公共交通機関の利用に関する意見

	性別
<p>公共交通機関の利用を。とありますが出雲市内の路線バスは、バスの通っている路線がすごく狭いように思います。住んでるところはバス路線なく出雲へ来るまでは、家で一台を利用してましたが生活がむずかしくなり一人一台にしました。</p>	女
<p>公共交通機関(電車)を充実させてほしい。現状では本数が少なすぎて利用できない。</p>	女
<p>省エネ機器は割高で環境に良くても家庭の出費が高くなる。補助金が出ても結局メンテナンス費、経年劣化での交換や取り外すときのお金がかかり後々のことを考えるとなかなかソーラーや電気自動車には手を出しにくい。バスや電車の運用を拡大すれば車に乗る回数も減るので温暖化対策にもなると思うし、バスの電気自動車ならなおさら良いと思います。あと、電気や水の使用量と、現時点での使用料が見れると、気にすることができて、節水、節電に大きく関心が出てくると思います。</p>	男
<p>公共交通機関の利用促進について、過疎地域におけるマイカーは生活の基盤であって、転換は困難(縮小は工夫しだいでは)。交通主体の運営費補助には限界があるし、相応の受益者負担は欠かせないと思います。足の確保の観点からは該当地住民のニーズの把握が必要となります。官民一体となって創意工夫が重要でしょう。乗り合わせ等の共同使用・カーシェアリング(都会地?)、自家用車の有償送迎・貨客輸送等々…etc、思い付きですみません。</p>	男

6 再生可能エネルギーに関する意見

	性別
太陽光発電も含め、自家発電システムへの説明や助成補助金についての説明があると参考にしたい。	男
フリーエネルギーの発展を願います。	女
太陽光発電、風力発電コストが高すぎて又本当にコストが良いか？ごまかしているように思う	女
出雲市圏域もマンション、一戸建てが増加してきています。これにより田畑が減少してきており「自然の温度」が失われて来ています。出雲市内(山、川以外)は緑化(森林とまでは言いません)が必要と思われます。道路側の緑化がいいのではないのでしょうか？これに伴う整備費も必要です。市役所、出雲市農協本店周辺の道路整備も進んでいますが、緑化が必要と思います。参考にして頂ければと思います。出雲市として、太陽光発電のお考えは有りますか？電力を電気会社へ売ることを前提でお考えならば辞められた方が無難です。買い取り価格は下がる一方と聞いています。	女
私は、出雲市内の森林資源を利活用することができるバイオマスボイラーの導入を、地球温暖化対策の一つとして提案します。木質バイオマスへのエネルギー転換によって、二酸化炭素等の温室効果ガスの大幅な削減につながるということだけでなく、地元の資源を利活用するため生産(つまり雇用)の場を創出することにもつなげる、という利点があります。出雲市における森林面積は、37,133haあり、市内面積の約60%を森林が占めています。このうち国有林面積は1,022ha(3%)、民有林面積は36,111ha(97%)であり、森林面積の大部分を民有林面積が占めているという現状です。近年では木材価格の低迷や山村地域での高齢化・過疎化等に伴い利用が減退していったことなどにより、森林と住民の関係が薄れ、手入れが行われておりません。その結果として、手入れのされない造林地や竹の侵入などにより里山は荒廃が進み、森林の有する多面的機能が損なわれてしまっています。そのため森林の多面的機能の高度発揮と資源の循環利用を図るため、国有林と民有林が相互に連携・協力して木質バイオマスへのエネルギー転換をすることを推進します。この案につきましては、私が昨年、所属している大学にて参加した「地域づくりインターン」で訪れた北海道下川町で行われているバイオマス構想の事例と学校の授業で学んだ「内発的発展論」の考え方に基いています。長々と失礼致しました。	女
これから発電所が必要となる国には、再生可能エネルギーを利用したものを扱うよう援助、支援、指導を行う。小型家電は個別にソーラーのように、発電逐電できる物を開発する、及び使用する。森林が減らないよう、住居、畑に育てるもの等、知恵を集める。	女

7 原子力発電に関する意見

	性別
島根原子力発電所の早期再開を希望します。	男
原発稼働賛成です！！石炭・石油を燃やす火力発電に比べ温暖化を抑制出来ます。循環水を利用し、魚介類の養殖も出来ます。	男
日本全体の原発0運動を行い早い時期に政治がより実現してほしく思います。各家庭でも出来る限りのエコおこなうことも必要と思います。自動車の排気ガス、二酸化炭素減に力をいれるべきだと思います。	男
地震の多い国(日本)原子炉を使わないのは理解できる。しかし、火力発電でCO ₂ を出すことにも問題があると思う。早急に稼働させるべきだと思う。	男

8 ごみの減量や3Rに関する意見

	性別
飲み会等の食べ残しがとても多いので、コース料理を少なめにするような取組をしたり、コース料理の廃止とか…。これは極端かな…。	女
旧平田市では可燃ゴミの出し方など、かなり細かく指導があったように思います。もっとしっかり各自が生ゴミの処理のし方について学習する必要があると思う。(町部では難しいかもしれないが)、小さくても家庭菜園やガーデニングをしている方はかなりあると思うので、家庭の生ゴミはできるだけ自家で処理する方法(EM菌、コンポスト、ダンボールコンポスト etc)いろいろあるので積極的な勉強会などの啓発が必要。自分にあった方法を選択し、生ゴミを再生利用、有効活用する事も大切。まず自分に何ができるのか?どの様な生活をする事が地球環境を守る事なのかの啓発活動にも力を入れて欲しいと思います。子ども達への教育は、将来へ、親へ期待ができると思います。※インターネットをみると、自治体によって、いろいろな生ゴミ再生に力を入れている所があり、感心しました。出雲市も頑張ってください。	女
空きびんのリサイクルについて。以前にも、広報で、埋め立て袋に入れず、リサイクルに提出し欲しい旨、お知らせがありましたが、もうひとつふみ込んで、埋め立て用に入れてあれば持ち帰りはしない等の必要性があるかと思います。又、行政指導で、小中高校での地球温暖化対策教育は効果的であると考えます。	女
破砕ゴミ袋が多い(他の市より多いような気がする)。袋の中味はビンや缶が多く、リサイクルが他の地域より悪いのでは。ビンや缶も一般ゴミと同じように各家庭で出せるようにしてほしい。リサイクルステーションに持って行くには遠くて面倒である。	男
夏はスイカをよく食べます。必ず皮は干してごみに出します。竹の子の皮もおなじです。風呂の水は夏は少なめに入れて入ります。	女
H21年4月からの「出雲市のごみの分け方、出し方」のパンフレットについて、日々、疑問があります。洗剤容器(プラ)は可燃ごみの分別になっています。プラ…このマークがついているのに燃やしているということで、このマークの意味が、今ひとつ理解できません。とうふの容器にもプラのマーク、可燃ごみ…。硬質のシャンプーボトルは破砕ごみに出していますが、実際のところどうしたらいいかわかりません。プラのついたものは破砕ごみに出しています。もっとリサイクルできるものをリサイクルしたら燃えるごみが減っていくと思います。スーパーで出せるトレーは限られていますし…。ペットボトルも燃やしてよい、出雲市。温暖化対策といわれるなら、だれもができるように伝えてほしいと思います。	女

9 環境教育に関する意見

	性別
小中学生、高校生に、授業で地球温暖化についてくわしく教え、日々の生活の中で、どんなことに気をつけたら良いかをもっと浸透させてほしい。家庭で、節水、照明等、教えているが、小言としてとらえられることが多く、(指導が悪いのかもしれないが…)もう少し理解して、自分からできる様になって欲しい。上記と同様、今の若い世代にもエコの大切さがわかるよう職場等で研修する機会があっても良いのではないかな。	女

【事業者】

1 地球温暖化対策を進めることについて

	業種
<p>車社会になり、人間が歩くことが少なくなった分自然とのかかわり・ふれあいが少なくなり運動する機会も減った。肥満体系を少なくする事が、時間を使う有効な使い方を考え、ゆとりある社会のリズムを創って行く事が省エネ社会・地球温暖化の対策に必要なではないでしょうか。自分の足元から健康な体・環境に良い生活が復活するか！</p>	卸売業
<p>地球温暖化の原因の大きな1つはフロンなので、フロンに関する事も必要である。行政が費用対効果(省エネに対して)を出して情報を公開する・出雲市全体のエネルギー使用量の情報提供(分析・検証)</p>	サービス業
<p>市の取組としてクールビズ等よく見ますが、地球温暖化として温室効果ガスの増加である可能性が高いと考えられ、その中で人為起源の温室効果ガスの総排出量に占めるガスの種類別の割合で二酸化炭素(化石燃料由来)が65.2%を占めています。移動手段として使われる車もハイブリッドや電気自動車が出て多少は貢献しようとしています、コストがかかりすぎます。行政としても移動距離を極力減らす取組が必要ではないでしょうか。公共工事発注においても車輛の移動距離が少なくなるような発注方法があるのではないのでしょうか。</p>	建設業
<p>このようなアンケートは紙ではなくインターネット等で良いのでは(印刷はエコでない)</p>	サービス業
<p>ひとり、ひとりの意識を変えることが大事。なんでも燃やす事業所がある。指導が必要</p>	運輸・通信業
<p>年々地球温暖化のスピードが進み、自分たちの生きて来た経験などあてはまらず、予期せぬ出来事、自然現象が起こっているのが現状です。温暖化対策は大規模だけではない、とても小さな取組は一人一人の意識の問題です。大都市に見られるヒートアイランドまではいかなくてもどこもかしこも舗装、コンクリートにし、自然破壊的現状になっています。9号線バイパス路肩造成時、価格が安いからと防草シートによる工事で終わってま。す。(まあ、すべて、今迄されてる事)が、草は生えほうだい、延びほうだい(見苦しい)斐伊川の堆積物による川幅の減少など(これは国交省の責任でしかない)個々の家庭で、庭などを草の生えない砂にする作業、路肩・公共場など、防草砂などで、実施をすれば随分と温暖化を防ぐことができるが、予算だけを問題にされる為、財力の無い企業には聞く耳すら持ってもらえないでしょう。温暖化対策・非常に貢献すべく努力をしている企業がやっていることに関心をもってもらいたいものです。</p>	サービス業
<p>対策を実行している事業には、法人市民税や固定資産税を減免する等のインセンティブを与える。</p>	製造業
<p>50年に一度と言われる気象現象が毎年のように、どこでも発生している。また、竜巻もアメリカ大陸のものではなく日本でも発生するようになった。特に台風も大型化、強力化してきており、今のままでは地球上で人間が生活すること自体が難しくなってくるということを住民に認識させて、地球温暖化防止にみんなが取り組むように気運醸成していくべきである。事業所、自治会単位に避難対策を含めて情報提供と、住民行動方法を徹底すべきである。</p>	製造業
<p>事業所での温暖化対策は、複数の人間が心をひとつにすることから始まると思うと、それだけでもなかなか大変！！その上コストがかかったり手間をとられたりとなると資金に余裕がないと出来ません。それでも安くて簡単に出来ればいいかなと思います。</p>	小売業